

笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

笠間ファン倶楽部通信

2006 夏号

VOL.007



Kasama

笠間再発見！

愛宕山と北山公園ってすごいらしい

笠間昔話

筑波海軍航空隊

夏のイベント情報

お祭り情報、美術館情報 ほか

我らは笠間応援団！／文・青木辰司（東洋大学教授）

感動共有空間創造に向けて～クラインガルテンの新展開

メイド・イン・笠間で行こう！／磯蔵酒造

観光客に聞いたおすすめショップ FAN FAN KASAMA ほか

神風特攻隊の決定に重要な役割

筑波海軍航空隊が旧友部に

写真提供／南 秀利さん

昔話 笠間

教官と練習生～赤トンボ（93式陸上中間練習機）前にて



1 後世に史実を伝えたいと記念碑を建立、歴史民俗資料館には多くの資料を展示中。

資料館 電話0296(7)8025。JR水戸線穴戸駅から徒歩7分。

2 1「J」に筑波海軍航空隊ありきの記念碑、2「笠間市立歴史民俗資料館」

3 入場無料。月曜、祝日、毎月末日、年末年始は休館。資料のほか、たくさんの民俗資料が展示されています。



左側の写真が当時の筑波海軍航空隊本部。現在も茨城県立友部病院として(写真・右)当時の姿がそのまま残っています。



笠間市旭町地内にあった筑波海軍航空隊の基地の様子。

昭和9年(1934年)8月、霞ヶ浦航空隊友部分遣隊が旧友部町旭町地内に開設され練習機による操縦教育がはじまりました。昭和13年12月に筑波海軍航空隊として独立し、赤トンボと呼ばれた93式陸上中間練習機により搭乗員の養成が行われてきました。太平洋戦争が激しくなると零戦や紫電が配置され、実戦部隊としてついには特攻

隊も編成されました。特に日本海軍の神風特攻隊については、ここがその決定に重要な役割を果たしたと言われています。昭和19年末から20年にかけて、フィリピンや沖縄戦に70名を超える若き隊員が特攻に参戦し散華しました。昭和9年から20年の11年間で約1500人が飛行訓練を受けましたが、現在もご健在の方はその5分の1にも満たません。「生き残った人

には、戦死した仲間の慰霊と戦争の真実を伝える義務がある」という理由で平成11年6月、関係者や有志により旭町地内に「筑波海軍航空隊記念碑」が建立されています。現在は旭町地内にある歴史民俗資料館(旧穴戸町役場庁舎、建物は国の登録有形文化財に指定)にて、戦争関連の多くの資料をご覧いただけます。平和の願いを込めて紹介させていただきました。

昭和13年 という時代

昭和15年に計画されていた「東京オリンピック」が日中戦争の影響で中止となる。幻のオリンピック。アメリカの漫画「スーパーマン」登場。映画「愛染かつら」「モダン・タイムス」本「麦と兵隊」「風立ちぬ」歌「雨のブルース/淡谷のり子」東京・銀座に屋台のホットドック登場。全国に広がる。
【その頃笠間では】筑波海軍航空隊が独立した翌年、大相撲の双葉山、双黒山を迎え、独立を記念した相撲大会が開かれました。

夏のイベント情報

笠間で開催される魅力たっぷりのイベント情報をお届けします。

茨城県陶芸美術館

「古九谷浪漫 華麗なる吉田屋展」
4/22(土)～6/25(日)
「現代陶芸の粋 ～東日本の作家を中心に～」
7/8(土)～9/10(日)
「生誕120年 富本憲吉展」
9/30(土)～12/3(日)
開/9:30～17:00 (入館は16:30まで)
休/月曜日 (但し祝日の場合は翌日休館)
問/tel 0296-70-0011
www.tougei.museum.ibk.ed.jp

笠間日動美術館

「クレパス画名作展」
6/3(土)～9/3(日)
開/9:30～17:00 (入館は16:30まで)
休/月曜日 (但し祝日の場合は翌日休館)
問/tel 0296-72-2160
www.nichido-garo.co.jp/museum

体験学習館 分校



「笠間青年会議所 蜚 事業」
6/17(土)入場無料 オープニング 16:00～
表現座公演「HOTARU物語」17:45～
問/tel 090-3007-6929 (藤本)
「アトリエちびくろの夏まつり」
8/12(土)午後～ 武蔵野美術大学による、子供
たちとの図工教室。もぎ店、作品展示、アトラ
クションほか。
問/tel 0299-45-5930
※体験学習館分校は自由な空間スペースです。
作品発表やコンサートなどにご利用ください。

栗の家 骨董市

第三回私のコレクション 世界の鏡(あぶみ)展
6/18(日)10:00～
何でも鑑定団でおなじみの安岡先生と今展のコレ
クター赤堀氏によるトークショーも開催。
10:00～ 同時開催ミニライブ(栗林 緒)
11:00～ トークショー(安岡路洋 VS 赤堀 和)
場/栗の家 石蔵前ステージ
問/tel 0299-45-5124
※骨董市は毎月第3・第5日曜に開催中。

笠間工芸の丘

「笠間茶陶研究会 新作展」6/21(水)～7/9(日)
「新井倫彦陶展」6/21(水)～7/2(日)
「食卓の情景展VI」7/5(水)～7/30(日)
「彩陶展」7/12(水)～7/30(日)
「ランディエ・ウージと松田和美展」8/2(水)～8/20(日)
「～青白磁・青花～相馬晃・登志恵展」8/2(水)～8/20(日)
「鈴木 静 作陶展」8/23(水)～9/3(日)
「ぐどん&えみ展覧会」8/23(水)～9/10(日)
問/tel 0296-70-1313
www.kasama-crafthills.co.jp

ほたる鑑賞会

6/24(土)17:30～21:00
場/南指原ほたるの里
問/笠間市役所農政課 tel 0296-77-1101 内線523

笠間稲荷神社

車の茅の輪くぐり 6/25(日)10:00～15:00
場/佐白山麓笠間稲荷神社外苑駐車場
夏越しの大祓式～茅の輪くぐり～6/30(金)16:30～
献燈祭 8/6(日)17:00～
場/笠間稲荷神社拝殿・境内
問/tel 0296-73-0001
www.kasama.or.jp/

常陸国 出雲大社

夏越大祓祭 6/25(日)14:00～
みたままつり 8/19(土)
問/tel 0296-74-3000
www.izumotaisha.or.jp

茅の輪くぐり協賛イベント

6/30(金)17:30～21:00 市内商店による模擬店等。
場/笠間稲荷神社及び笠間稲荷門前通り
問/tel 0296-72-0139 笠間稲荷門前通り商店街
協同組合 手打ちそば柏屋

ブルーベリー摘み取り

30分食べ放題のブルーベリー園が笠間にOPEN!
6月下旬～7月下旬 (※要予約)
料/休憩食事付き・大人1300円(中学生以上)
子供1100円(小学生まで)
時/9:30～16:00
場/笠間クラインガルテンブルーベリー摘み取り園
問/笠間クラインガルテン農産物直売所
tel 0296-70-3133
休/月曜日(祝日の場合は翌日)

七夕感謝祭

7/1(土)2(日)9:00～16:00
クラインガルテン利用者による野菜自慢コンテ
ストや農産物特売ほか。
場/笠間クラインガルテン直売所
問/tel 0296-70-3133

グリーンフェスタかさま

7/1(土)16:00～(大会最終組ホールアウト後)
ステージイベント 16:10～18:30
囃子演奏、和太鼓演奏、プロゴルファーチャリテ
ィーオークション、ジャズコンサート
体験イベント 15:00～18:30
はしご車体験、防災展示コーナー、スナッグゴル
フ体験コーナー、ロクろ体験
特産物販売 15:00～18:30
笠間焼、稲荷寿司コンテスト入賞作品、和菓子、洋
菓子、地酒ほか
場/穴戸ヒルズカントリークラブ
問/tel 0296-72-9222 (社)笠間観光協会

ピアマグ展

7/29(土)30(日)10:00～18:00
笠間焼作家によるピアマグ展。新作ピアマグに
よる試飲も出来ます。
場/城南・やきもの通り公園
問/tel 0296-72-6688 やきもの通り商店会 か
つら陶芸 ※マイピアマグカップ作製教室は7/10(月)まで。

夏まつり情報

問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama
〈岩間地区〉
岩間夏まつり 8/27(日)16:00～20:00(予定)

主催/岩間囃子連合保存会
泉ばやし 7/23(日)～7/25(火)
灯籠念仏 8/14(月)
〈友部地区〉
八雲神社夏季例祭 7/22(土)23(日)
平神社祇園祭 7/29(土)30(日)
〈笠間地区〉
八坂神社の祇園祭 8月初め(予定)
灯籠流し 8/16(水)
笠間のまつり 8/19(土)



献燈祭協賛イベント

8/6(日)18:30～ 市民によるコンサート等。
場/笠間稲荷神社及び笠間稲荷門前通り
問/tel 0296-72-0139 笠間稲荷門前通り商店街
協同組合 手打ちそば柏屋

稲田ふれあいまつり

8/6(日)9:00～ 地域住民による飲食の提供や市
民によるコンサートなど。
場/稲田ふれあい公園
問/0296-74-2317 稲田ふれあいまつり実行委員会(篠田)

全国子ども陶芸展 in かさま

展示/8/10(木)～8/26(土)
茨城県陶芸美術館・県民ギャラリー
8/28(月)～9/3(日)
NHK水戸放送局・わいわいギャラリー
※出品申込書の締め切りは6/21(水)(消印有効)
問/tel 029--221-3155 茨城新聞社広告局事業部
内「全国子ども陶芸展 in かさま」事務局

十六夜まつり

8/13(日)～8/15(火)18:00～21:00
路上に沢山の笠間焼キャンドルが並び、音楽や
作家レストランも登場。さらに今年は笠間焼を
利用した流しそうめんも行います!
場/陶の小径
問/tel 0296-72-6865 陶の小径商店会 やまさき陶苑

アマチュア陶芸展

8/31(水)～9/10(日) ※9/4(月)は休館
アマチュア及びセミプロの陶芸家による陶芸コ
ンテスト。「飲食器」「花器」「ピアカップ」部門あり。
場/茨城県陶芸美術館・県民ギャラリー
問/tel 0296-70-1313 笠間工芸の丘内 アマチ
ュア陶芸展事務局

ふあっしょん抄

9/17(日)11:00～ 13:30～
古い着物を現代風にリフォームした服を紹介す
るファッションショー。
場/笠間稲荷神社及び笠間稲荷門前通り
問/tel 0296-72-0139 笠間稲荷門前通り商店街
協同組合 手打ちそば柏屋

▲企画・アイデア・ボランティア募集▼「笠間を応援するためにこんなことをしたい」「こんなことをやってほしい」など皆さんの声を募集します。また、イベントボランティアも同時募集!

※こちらの募集も笠間市商工課まで(電話0296(7)1101)

▲企画・アイデア・ボランティア募集▼「笠間を応援するためにこんなことをしたい」「こんなことをやってほしい」など皆さんの声を募集します。また、イベントボランティアも同時募集!



シリーズ VOL.07
笠間再発見！

最高の景観、自然の宝庫、無料で使えるうれしい施設… 愛宕山と北山公園 園ってすごいらしい



上から愛宕神社、そこへ続く参道、森の中の鳥居。他にほころなどがあるので、散歩すると面白い。

山頂一帯が“あたご天狗の森”として親しまれている自然の宝庫「愛宕山」、地形をうまく活かした自然公園で無料のレジャー施設が充実の「北山公園」。今回の笠間再発見は、この二つのおすすめスポットを紹介します。



天狗たちが住んだ愛宕の山、頂上からの眺めが最高です！

笠間市の南部に位置する愛宕山（標高306m）。天狗たちが住んだという伝説が残されるこの山の頂上付近には、火の神様を祭る愛宕神社（806年創建）が鎮座しています。愛宕山は新緑、そして秋の紅葉と四季折々の景色が美しい山です。桜の名所としても知られており、河津桜からはじまり吉野桜、山桜、八重桜など数種類の桜が山肌一面を染め、約2ヶ月間楽しめます。岩間ICから一般道で約15分。頂上まで車で登ることができ駐車場もあります。この辺一帯は「あたご天狗の森」として整備されているため、すべり台など子供が楽しめる遊具も設置されています。気軽なハイキングから、吾国山までの本格的な縦走コースまでとハイキングコースも充実。最近では熟年登山の方も増えているそうです。そして何より頂上駐車場からの眺めが最高で、澗沼、霞ヶ浦、鹿島の煙突、そして大洗まで見渡せる大パノラマです。

この駐車場内には「フォレストハウス」があります。2棟からなり、地元で採れた新鮮野菜

の直売所が人気を呼んでいます。11名の野菜名人の写真が貼ってあり、作り手の顔がわかる工夫がされています。その作り手の皆さんが交代でお店に出ているんだとか。また、昨年11月にオープンしたソフトクリームの売店もあります。各250円でバナラの他にオリジナルで季節ごとにソフトクリームが登場します。むらさきいもや名産の栗など地元で採れたものを使っていて大変美味です。コーヒーも150円とリーズナブル。売店の一角には、販売員の堤徳郎さん（64歳）が収集している貴重で珍しい貝類が展示されています。日本貝類学会会員の肩書きを持った堤さん自作の蘭玉人形や貝人形などを販売中です。



ソフトクリーム各250円。右側は笠間産のむらさきいもを使ったアイス。しっかりと味の味がして美味！



北山公園 JR水戸線穴戸駅より徒歩20分
北関東自動車道友部ICより車で10分
愛宕山 JR常磐線岩間駅より徒歩50分
常磐自動車道岩間ICより車で15分

人気のスカイロッジ&タダで遊べる北山公園

山頂近くにはログハウスの宿泊施設「スカイロッジ」があります。愛宕山の自然に魅せられたリピーターも多く、週末はなかなか予約の取れない人気の宿です。日頃の喧噪を忘れて、昼はハイキングやバーベキュー、夜は星空観察ととことん自然を満喫してはいかがでしょうか。



フォレストハウス/愛宕山山頂駐車場内（ソフトクリーム）10:00~15:00 雨天閉店（野菜直売所）9:00~15:00 土、日、祝日のみ営業



日本貝類学会会員の肩書きを持った販売員の堤徳郎さん。売店では自身が収集した珍しい貝類を展示。



スカイロッジ管理事務所 /茨城県笠間市上郷2775-7 TEL 0299-45-6622 4人用ログハウス泊16,800円ほか

季節ごとに咲き誇る美しい花、茨城観光百選にも選ばれている白鳥湖、園内を散歩すると出会うたくさんの野鳥や昆虫…北山公園の魅力はいっぱいありますが、その中で今回は、タダで使えるうれしい施設を紹介しましょう。高さ23mの展望台（こちらも無料です！）の足元から山の起伏をそのまま活かした長さ161mのローラーすべり台が伸びています。急カーブもあって、けっこうスピードが出るので大人でも充分に楽しめますが、こちらがタダ。管理事務所ですべり台用のマットも貸してくれる親切ぶりです（もっともマットが無いとお尻が痛くて滑りませんが…）。また、園内には屋根付きのバーベキュー場があって、こちらもタダ。食材は100%持ち込みですが、鉄板やヘラ、火ばさみなども貸してくれますよ。自然の地形をそのまま活かした北山公園ですが、遊歩道がしっかり整備されているのでちょっとしたトレッキング気分を味わえます。心地よい汗を流しながら、楽しい1日を過ごしましょう。



北山公園内のバーベキュー場はなんとタダ！要予約。北山公園管理事務所/TEL 0296-78-3911



ハナハスは7月中旬から9月上旬が見頃です。

笠間のホタルを見に行こう！



自然環境が恵まれている笠間では愛宕山のみもとなど、市内のあちこちでホタルを見ることが出来ます。おすすめの場所を2ヶ所紹介しましょう。1つめは笠間ラインガルテンから石岡方面へ約2.5kmほどのところにある「南指原ほたるの里」。水がきれいなのでゲンジボタルなども生息しています。案内看板があるのでそちらをを目印にしてください。もう1つは北山公園内にある「ゲンジボタルの里」。こちらはビオトープ（生態系を考慮して作られた池、小川など）として整備されたもので、ホタルの一生が分かりやすく説明された看板があります。クレソンも栽培されていますよ。ホタルが多く見られるのは6月中旬から7月中旬にかけて。夏の風物詩とも言える幻想的な光を、今年の夏はぜひご覧になってみてください。



北山公園内のゲンジボタルの里。白鳥湖を右手に見て進んで行くと右側にあります。

案内看板にはホタルの一生が分かりやすく説明されています。

Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう!

笠間には人知れず、こだわって、いいものを作っている人たちがたくさんいます。そんな人々を応援する意味を込めて、このコーナーを始めました。これを読んで気に入ってくれたら、ぜひ自分の足で訪ねてみてください。きっと素晴らしい出会いが、あなたを待っていることでしょう。

その5/磯蔵酒造 有限会社

SHOP DATA

住/笠間市稲田2281-1 電/0296-74-2002
 営/8:00~17:00 (日・祝祭日定休)
 URL/http://isokura.jp



酒蔵の中にはカウンターバーの「ちょっ蔵・きき酒場あ」があります。向かいの雑貨屋さんでおつまみを買って来るのがツウなんだとか...



江戸時代末期より続く歴史ある磯蔵酒造。



茨城県内の専門学校で生徒が企画、デザインしたお酒です。

「かさま美人」笠間人情「城山の想い」を3本セットから名前にプレゼントいたします。本誌への意見、ご感想をすべて「お酒希冀」と書いて下記までご応募ください。はがき・メール・ファックスにて受け付けいたします。

もらってうれしい
 読者プレゼント

酒造りは一期一会の積み重ね... 日々成長していく酒を造っていききたい

緑あふれる山々に囲まれた盆地の笠間は、古くから稲作が盛んでした。中でも「種を蒔かなくても稲が生えた」と伝えられる御神田がある稲田神社から名付けられた稲田地区は稲の里と呼ばれ、周辺の山々から湧き出る良質の地下水と共に酒造りに絶好の地域でした。古くから農家として米作りをしていた磯蔵では、その良質の水と米に初代の蔵長右衛門氏が着目し、江戸末期より酒造りを始めたのでした。前出の稲田神社の昔話で、お祀りしている稲田姫(須佐之男命(スサノオノミコト)の妃)が「好

井の水で酒を造って供えてほしい」と伝えたという話が残っています。そこにも磯蔵酒造のルーツがあるかも知れません。「いい酒というのは環境に始まり、素材から醸造、流通そして皆さんに飲んでいただく瞬間まで、たくさんの人に支えられ初めて成り立ちます。『酒造りは一期一会の積み重ね』をモットーにたくさんの人々との関わり合いの中で、日々成長していく酒を造っていききたいです」現在の蔵主、五代目の磯貴太さんはそう話します。いつも新たな事にチャレンジする貴太さん、先頃には

文化学院芸術工科専門学校(リリー)とのコラボレーションで、生徒さん達が企画・デザインをした3点のお酒を商品化、限定販売しています。なお、酒蔵の中にはおしゃれなカウンターBar「ちょっ蔵・きき酒場あ」があり、蔵人と日本酒談義などもオツなもの。予約すれば酒造り現場を案内してくれます。自ら「こだわり十ヶ条」を掲げ、「本物の地酒」を追求する姿は感動ものです。一度行って自分の目で確かめてみてください。おすすめします。

〈読者プレゼントあて先〉社団法人 笠間観光協会 〒309-1626 茨城県笠間市下市毛288-10 kasama@intio.or.jp FAX0296-72-9211

FAN FAN KASAMA

笠間好き集まれ! / ファン! ファン! カサマ



ふるさと案内人/海藤清治(かいとうせいじ)さん

横須賀生まれの71才。終戦直前の小学5年生の時に親の実家笠間に移住。平成7年まで小中学校で教鞭をとる。専門は社会科。趣味は演劇(特に歌舞伎)やクラシック音楽の鑑賞・合唱。現在笠間市文化財愛護協会会長。

笠間のかくれた史跡を静かに巡るのもよいものです。

●笠間は笠間焼、御影石など地場産業の盛んな町。つつじまつり、菊まつり、陶炎祭などの大きなイベントがたくさんあり、多くの観光客が訪れます。
 ●しかし、笠間は歴史の町でもあり、かかれた史跡を静かに巡るのもよいものです。
 ●笠間城は城主は度々代わりましたが、明治初年まで存在していました。初代の笠間氏は18代続き、菩提寺は傍殿寺で墓地もそこに現存しています。初代城主の時期はすぐれた文化人でもあったので、仏像を寺々に寄進しています。傍殿寺の千手観音は国の重要文化財に指定されています。事前に予約しておけば、拝観も可能です。
 ●西念寺は親鸞聖人が40歳から60歳までここに生活の本拠をおき、浄土真宗の根本教典といわれる「教行信証」を書き上げた

所として知られています。近くには妻恵信尼の墳墓とされる玉日姫廟があります。
 ●訪れた人に喜んでいただき、笠間を好きになっていただくのが何よりの喜びです。

声 ファンファン ボイス

～会員の皆様の声、いただきました～

- 私にとって笠間といえば陶芸。昔の伝統にとらわれない斬新な意匠に期待します。また、50年100年先を見据えて、電柱の撤去、建物の高さ、瓦葺、看板の統一、街路樹、自動車の制限、町の音・色の制限など、どこでもやらない清潔な街づくりを全国に先駆けて欲しいです。(千葉県・男性)
- クラインガルテンの住人です。将来も笠間と繋がりをもちたいと思いますが、それを受け入れるシステムがありません(グリーンツーリズムの構想はあるようですが)。このままだと、単なる箱物行政になります。倶楽部内でも検討を。(千葉県・男性)
- インターネットで笠間ファン倶楽部のことを知りました。実家が笠間なので時折帰郷することがあり、懐かしく思っています。笠間の自然が大好きです。(福岡県・男性)
- 笠間の土と空気の香りが大好きです。月に何度か仕事で笠間に来るのですが、ちょっと寄り道して笠間を楽しむのがすっかり定着しました。これからも通いますのでよろしくお願いします。(茨城県・女性)

※本誌に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

愛宕山の達人、自然公園指導員として35年間活動中!

●「小学校の頃は遠足で、中学校の頃はあけび採りによく来ました」「ふくれみかんがあつてめじろが食べにきていました」などと懐かしそうに話してくれました。子供の頃から旧笠間のシンボル・愛宕山で遊び、知らない所はないという達人です。現在、茨城県から委嘱され、35年間の長きにわたる自然公園指導員として愛宕山と難台山のエリアを受け持っています。毎日のように山を歩き、愛宕山の自然を楽しみ大切にしておられると活動中。「愛宕山は貴重な植物や鳥、蝶の宝庫。むやみに採っていかないようにして下さい」と呼びかけています。また、大山さんの活動の輪が広がり「あたご四季の会」ができています。現在30数名の会員により月2回、愛宕山のゴミ拾い、草刈り、枝打ちなどのボランティア活動中。とってもお元氣な大山さんですが、今でも山登りの仲間と全国各地の山に行かれるそうです。拍手!



愛宕山の達人/大山文男(おおやまふみお)さん

現在66歳。趣味は山登り、俳句。あたご四季の会会長。岩間生まれ育った根っからの地元人。

観光客が選ぶおすすめショップ

お店は高台にあるため市内を一望することができます。



シェフおすすめランチのミラノコースは1,995円。



欧風料理 チェルキオ
 住/茨城県笠間市笠間2642-5
 電/0296-70-1243
 営/ランチ11:30~14:30
 デイナー17:30~21:00 (日祝日17:00~20:30)
 休/毎週水曜日

旬の素材をいかした欧風料理が楽しめます

←フランス・イタリア料理をベースに、旬の素材をいかした料理が楽しめます。野菜は地元産でとても新鮮。メニューは本日のサブゲッティ1,155円、魚or肉料理1,365円、ディナーコース2,940円~などがあります。

→駅から一番近い笠間焼のお店です。オーナーの飯村さんは美術品のコレクターとしても有名。平成2年に築窯、作陶をはじめました。日用雑器から工芸品まであらゆる陶器を作成、販売しています。

大黒堂
 住/茨城県笠間市笠間4337-2
 電/0296-72-0326
 営/10:00~17:00
 休/毎週水曜日
 オーナーの飯村さん。



陶の日本人形。県芸術祭に連続入選するなど見事な作品です。

器の店、陶器を幅広く駅から一番近い笠間焼

手作りの辛みそ、おいしいですよ。完全無添加です。



鶴屋~TSURUYA~
 住/茨城県笠間市中央3-1-10 市役所通り
 電/0296-77-0106(代)
 営/8:00~20:00
 休/第3日曜日
 http://www.tsuruya-ibaraki.co.jp

食 無添加の手作り辛みそ「香楽美祖」が絶品です!

←こだわりの手作り辛みそが絶品! 素材はすべて県内・国内産で完全無添加。大好評の香楽美祖(からみそ)500円~をはじめ、ゆずや生姜みそ、揚げニンニクなど種類も豊富。地方発送もOKです。

→広々としたイギリス風庭園の四季折々のハーブ草花やブルーベリー園...庭園を見渡せるログハウスのお店では、ハーブティーやブルーベリーケーキが楽しめます。またハーブ関連グッズや陶器、ジャム、スコーン、洋服なども販売しています。

癒 haのイギリス風庭園 軽食やハーブグッズも

フラワーヒル 花その
 住/茨城県笠間市上郷花園971
 電/0299-45-4156
 営/10:00~17:00
 休/水曜日(12月~2月休園)
 http://www.geocities.jp/nishiyama971



イギリスの庭園に魅せられたオーナーが、癒しの場を提供したいと平成13年6月にオープン。



感動共有空間創造に向けて～クラインガルテンの新展開

文・青木辰司(東洋大学教授)



先日しばらくぶり、笠間クラインガルテンを訪れた。クラブハウスで編み物を楽しむご婦人の中に利用者の奥様が何人かおられた。その中のお一人が5年目に入り、来年は「卒業」せざるを得ず、何処か市内で別の農園を見つけないかと嘆いておられた。「東京にお住まいなら、静岡や近くも？」と勧めたが、「笠間でなければ、きっぱりやめたい」と言う。それ程までに笠間にこだわるのは、単に農地や滞在施設があるからでなく、これまでのいろんな方々との交流は、笠間以外で叶わないと考えているからのようだった。これほどまでの「笠間ファン」を、みすみす逃す手はない。「農芸と陶芸

のハーモニー」をテーマに、笠間独自の「農のある暮らし」の提案をしてきたものとして、これ程うれしい話はない。ぜひこうした人々を次のステップに導く、第2のクラインガルテンを、早急に手掛けたい。その要点は、「私的財産の公共的利用活用」の理念である。遊休化しつつある農地を、確かな公共的な理念に基づいて、心ある都市住民に開放し、「農」のある暮らしをともに享受する。それを行政がしっかりと支援して、社会的な信託を得ながら、広く普及する。こうしたソフトの公共事業こそが、これからの笠間に求められるのである。



一方、英国には、住民の心の拠り所として、どんな小さな村にもパブがある。日本では、単なる「居酒屋」としてしか認識されないが、決してそうではない。個人主義社会の英国には、他者理解のためのコミュニケーションの場として、パブが不可欠なのである。若者が集い会う一方で、静かに向き合っている老夫婦がおり、家族でテーブルを囲む姿も見られる。こうした品格の高い公共の家が、パブなのである。

英国のパブキングキングスハウス



笠間には、立派な蔵を提供したいという篤志家もおられる。多くの人々が感動を共有できる場づくり。時代は「観光」から「歓交」へ。その先端を行く笠間の姿が目に見えよう。

笠間ファン倶楽部 会員募集中

とにかく、笠間と関わりを持ちたい人を募集致します。笠間市民の方も加入できます。

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外の目)が多くの笠間人(内の目)とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感じられるような場にしていきたいと思っています。なお、会費は無料ですので、是非皆さんお申し込み下さい。

- 1 笠間を好きになる。
- 2 笠間を応援したい人。
- 3 笠間をふるさとにしたい人。
- 4 笠間人(かさまひと)と交流したい人。
- 5 笠間の歴史、人、自然を知りたい人。

【会員特典】

レンタサイクル1日料金を半額(800→400円)、宿泊料金10%割引(一部旅館のみ)、本誌の発送(年4回) ほか多数！

お申し込みは、住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間市への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかでお申し込み下さい。

笠間出身者及びゆかりのある人募集

あなたの近くにいる笠間出身者やゆかりのある人を教えてください。ファン倶楽部の活動に役立てていきたいと考えています。また、笠間でいうイベントなどに積極的に裏方として参加してくれる人も募集中です。

全てのお申し込みは

笠間市産業経済部商工課

〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-78-5130
E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

笠間アクセスマップ

電車からのアクセス

東京方面から

上野→(JR常磐線・特急65分)→友部→(JR水戸線10分または無料周遊バス20分)→笠間

上野→(JR常磐線)→岩間→(JR常磐線6分)→友部→笠間

東北方面から

郡山→(JR東北新幹線80分)→小山→(JR水戸線60分)→笠間

→(JR水戸線10分)→友部→(JR常磐線6分)→岩間

高速バスからのアクセス

東京方面から(1日4往復)

東京駅八重洲南口→(常磐自動車道90分)→岩間→(R355)→友部→(R355)→笠間

車からのアクセス

東京方面から

三郷JCT→(常磐自動車道40分)→岩間IC→友部JCT

→(北関東自動車道)→友部IC→(R355)→笠間



笠間市なるほどデータ/栗の栽培面積県内トップ！
①笠間市 852 ha ②かすみがうら市 752 ha ③右岡市 645 ha
※参考 H16年度茨城の青果物統計(関東農政局統計・情報センター)

笠間市基本データ 人口：約82,000人 (H12国勢調査)
面積：240.25平方キロメートル 駅の数：6駅

この機関誌は、再生紙、大豆油インクを使用しています。

